



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 秀樹 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,107	△9.0	506	△52.6	688	△41.5	395	△52.6
27年3月期第2四半期	23,195	15.8	1,070	50.6	1,177	39.9	836	60.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △22百万円 (△101.70%) 27年3月期第2四半期 1,313百万円 (4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.21	—
27年3月期第2四半期	30.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	57,768	36,369	62.9
27年3月期	58,933	36,577	62.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 36,348百万円 27年3月期 36,577百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	2.5	800	△43.9	1,000	△41.9	600	△49.7	21.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」もご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	30,563,199株	27年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,689,934株	27年3月期	2,709,534株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	27,863,822株	27年3月期2Q	27,820,479株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、かつ様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 主力品の売上高	9
(2) 臨床開発状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高211億7百万円（前年同期比9.0%減）となりました。利益につきましては、売上高減少の影響等により、営業利益5億6百万円（前年同期比52.6%減）、経常利益6億8千8百万円（前年同期比41.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億9千5百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①医薬品事業

主力品の売上高を見ると、オーソライズド・ジェネリックカンデサルタン、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リュプロレリンが引き続き増加したほか、甲状腺ホルモン剤チラーゼンや緊急避妊剤ノルレボ等も堅調に推移しました。一方、昨年9月末の経皮吸収型鎮痛消炎剤セルタッチの販売終了およびセオリアファーマ株式会社との物流業務終了に伴う売上減少（合計32億8千4百万円）があったこと等から、売上高は189億2千4百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益は14億6千万円（前年同期比24.7%減）となりました。

## ②その他

その他事業の売上高は、21億8千2百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は1億2千4百万円（前年同期比10.3%増）となりました。その他事業では、動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等を展開しておりますが、動物用医薬品分野のアミノ酸飼料添加物の売上が引き続き増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億6千5百万円減少し、577億6千8百万円となりました。これは、商品及び製品および無形固定資産は増加しましたが、有価証券および現金及び預金等が減少したためであります。

負債につきましては、9億5千7百万円減少し、213億9千8百万円となりました。これは、短期借入金は増加しましたが、その他および支払手形及び買掛金等が減少したためであります。

純資産につきましては、2億7百万円減少し、363億6千9百万円となりました。これは主に株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.8ポイント上昇し62.9%となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ44億9千9百万円減少し、50億7千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、32億4千2百万円（前年同期は18億6千3百万円の増加）となりました。これは減価償却費および税金等調整前四半期純利益の計上はありましたが、たな卸資産の増加および仕入債務の減少などによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、26億9千3百万円（前年同期は2億4千7百万円の増加）となりました。これは主に無形固定資産および有形固定資産の取得によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、14億3千6百万円（前年同期は2億4千4百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金および長期借入金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、医薬品事業における新製品投入の遅れおよび主力製品であるオーソライズド・ジェネリックカンデサルタン、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リユープロレリンの売上計画未達の見込み等によって、売上高440億円、営業利益8億円、経常利益10億円、純利益6億円に修正いたしました。通期連結業績予想は、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」もご参照ください。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,724	4,925
受取手形及び売掛金	8,483	9,468
有価証券	2,850	150
商品及び製品	6,768	8,269
仕掛品	1,116	1,086
原材料及び貯蔵品	3,491	3,292
その他	2,769	2,176
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	32,190	29,358
固定資産		
有形固定資産	13,103	13,728
無形固定資産	543	1,971
投資その他の資産		
投資有価証券	9,244	8,574
その他	3,903	4,161
貸倒引当金	△53	△26
投資その他の資産合計	13,094	12,710
固定資産合計	26,741	28,409
繰延資産	1	—
資産合計	58,933	57,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,856	5,676
短期借入金	808	1,958
賞与引当金	992	1,015
その他の引当金	204	286
その他	6,012	4,437
流動負債合計	14,874	13,374
固定負債		
長期借入金	558	1,029
退職給付に係る負債	6,598	6,718
その他の引当金	282	229
その他	42	47
固定負債合計	7,481	8,024
負債合計	22,355	21,398
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	34,447	34,648
自己株式	△2,464	△2,454
株主資本合計	34,026	34,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,834	2,384
退職給付に係る調整累計額	△283	△273
その他の包括利益累計額合計	2,550	2,110
非支配株主持分	—	21
純資産合計	36,577	36,369
負債純資産合計	58,933	57,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	23,195	21,107
売上原価	14,374	12,732
売上総利益	8,820	8,375
返品調整引当金繰入額	6	△2
差引売上総利益	8,813	8,377
販売費及び一般管理費	7,743	7,871
営業利益	1,070	506
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	80	101
不動産賃貸料	115	120
その他	19	20
営業外収益合計	218	243
営業外費用		
支払利息	7	7
不動産賃貸費用	14	29
賃貸借契約解約損	64	—
その他	24	25
営業外費用合計	110	61
経常利益	1,177	688
特別利益		
関係会社株式売却益	58	—
特別利益合計	58	—
特別損失		
事業再編損	73	—
特別損失合計	73	—
税金等調整前四半期純利益	1,162	688
法人税、住民税及び事業税	919	63
法人税等調整額	△637	207
法人税等合計	281	271
四半期純利益	880	417
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	836	395

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	880	417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	416	△450
退職給付に係る調整額	16	10
その他の包括利益合計	433	△439
四半期包括利益	1,313	△22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,269	△43
非支配株主に係る四半期包括利益	44	21



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,162	688
減価償却費	867	753
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	100	135
受取利息及び受取配当金	△83	△102
支払利息	7	7
関係会社株式売却損益 (△は益)	△58	—
事業再編損	73	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,349	△985
たな卸資産の増減額 (△は増加)	200	△1,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,277	△1,196
未払消費税等の増減額 (△は減少)	496	△328
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	△162	△144
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,410	△705
その他	△324	433
小計	1,618	△2,716
利息及び配当金の受取額	85	102
利息の支払額	△7	△7
事業再編による支出	△13	△1
特別退職金の支払額	△83	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	263	△619
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,863	△3,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	600	—
投資有価証券の取得による支出	—	△700
投資有価証券の売却による収入	100	700
有形固定資産の取得による支出	△364	△1,083
無形固定資産の取得による支出	△136	△1,559
関係会社株式の売却による収入	70	—
その他	△21	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	247	△2,693
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	467	1,150
長期借入れによる収入	500	500
長期借入金の返済による支出	△1,029	△29
自己株式の純増減額 (△は増加)	12	9
配当金の支払額	△194	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244	1,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,866	△4,499
現金及び現金同等物の期首残高	6,318	9,574
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,185	5,075

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	21,244	1,950	23,195	-	23,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	24	25	△25	-
計	21,244	1,975	23,220	△25	23,195
セグメント利益	1,938	113	2,051	△981	1,070

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△981百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	18,924	2,182	21,107	-	21,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	24	24	△24	-
計	18,924	2,207	21,131	△24	21,107
セグメント利益	1,460	124	1,584	△1,078	506

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,078百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1)主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高  
(平成28年3月期 第2四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成27年3月期		当 期 平成28年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン	33.8	58.7	40.7	88.7	20.3
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	23.9	48.8	25.0	50.8	4.7
高脂血症治療剤 リビディル	23.6	44.8	22.4	45.7	△ 5.1
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	7.8	17.9	11.6	26.9	49.4
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	9.4	19.3	9.6	19.2	2.9
高血圧症治療剤 アムロジピン	9.2	18.5	9.1	18.5	△ 1.1
前立腺肥大症・癌治療剤 プロスタール	6.7	13.0	5.4	10.9	△ 19.7
プロトンポンプ阻害剤 ラベプラゾール	4.5	9.5	5.0	10.5	10.5
経口避妊剤 アンジュ	4.3	9.4	5.0	10.2	15.2
緊急避妊剤 ノルレボ	4.0	8.5	5.0	10.2	24.1

## (2) 臨床開発状況

臨床開発状況

(平成27年11月現在)

平成27年11月4日  
あすか製薬株式会社  
東証市場第一部  
コード番号 4514

区 分	品 名 (開発番号)	物 質 名 (一 般 名)	領 域・効 能	備 考
申請	(AKP-008)	黄体ホルモン(プロゲステロン)剤	生殖補助医療における黄体補充(腔用坐剤)	Allergan plc(アイルランド)より導入
申請	(AKP-007)	消化管ホルモン分泌抑制剤	内分泌・消化器領域	自社技術による付加価値製剤
Phase II/III	(L-105)	リファキシミン	肝性脳症	Alfa Wassermann S.p.A.(イタリア)より導入
Phase II	(CDB-2914)	選択的プロゲステロン受容体調節剤	子宮筋腫	Laboratoire HRA Pharma,SA(フランス)より導入
Phase I	(AKP-501)	遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン(rFSH)	不妊症	JCRファーマ(株)からの導入および共同開発